

つながる笑顔 そして一つに

旭市七夕市民まつりが、今年も中央商店街を中心に、8月6日と7日に行われました。

東日本大震災で被災しても、市民の力と願いで途切れることのなかった七夕市民まつり。第60回記念開催の今年は、姉妹都市茅野市や市内全地域からも団体が参加し、祭りを一層盛り上げました。

色とりどりの七夕飾りの下、みこしやお囃子、踊りのパレードなどが披露された会場では、来場者や参加者たちのたくさんの笑顔が――。

そこにはみんなの笑顔が一つになった瞬間がありました。



④



⑤



①



⑥



③



②



- ①多くの人が色とりどりの七夕飾りの下を行き交った
 - ②④飾られた短冊に目を留める笑顔の親子
 - ③かき氷を食べながら一休みする家族
 - ⑤ステージでは旭市イメージアップキャラクター「あさピー」に特別住民票が交付された
 - ⑥旭市観光大使椎名佐千子さんの歌謡ショー
 - ⑦笑顔で踊りを披露(花園流千名会)
 - ⑧ミス七夕の声援を受け街を練り歩くみこし連(西足洗岡区)
 - ⑨声高らかに木遣りを披露(茅野市木遣り保存会)
 - ⑩気迫あふれる撥さばき(広原暁会)
 - ⑪市無形民俗文化財「南堀之内のはやし」(南堀之内芸能保存会)
 - ⑫子どもたちも一緒にダンス(商工会女性部)
 - ⑬「笑顔きらり」総勢150人の大踊り連(ピア・ダンス研究会)
 - ⑭七夕メモリアル写真館では祭りをプレーバック
- ※()書きは参加団体名。

